

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 平成25年8月7日

【四半期会計期間】 第42期第1四半期(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

【会社名】 イフジ産業株式会社

【英訳名】 Ifuji Sangyo Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤井 徳夫

【本店の所在の場所】 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200番地の1

【電話番号】 092-938-4561 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【最寄りの連絡場所】 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200番地の1

【電話番号】 092-938-4561 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第41期 第1四半期 連結累計期間	第42期 第1四半期 連結累計期間	第41期
	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	2,470,341	2,599,668	10,657,418
経常利益 (千円)	191,361	182,685	825,585
四半期(当期)純利益 (千円)	109,649	124,952	532,832
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	109,548	124,989	541,073
純資産額 (千円)	3,351,392	3,769,003	3,727,355
総資産額 (千円)	7,725,914	7,913,104	7,995,088
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	13.16	14.99	63.93
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	43.4	47.6	46.6

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式1.5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等または、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、当第1四半期連結累計期間は、「第4 経理の状況」において、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、キャッシュ・フローの状況に関する分析・検討内容は記載しておりません。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策への期待による株価の上昇や円高の是正等により国内景気は緩やかに回復の気配が見られました。

食品業界におきましては、円安の進行等により今後様々な商品の値上げが懸念され、消費者の生活防衛意識が強まることが予想され、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、鶏卵関連事業において販売数量が増加したこと等により、前年同期比5.2%増の2,599百万円となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業において原料買付単価が上昇したこと等により、営業利益は同5.3%減の172百万円、経常利益は同4.5%減の182百万円、四半期純利益は同14.0%増の124百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、販売価格及び原料仕入価格が相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は売上高、仕入高とも増加し、低く推移した場合は売上高、仕入高ともに減少する傾向にあるため、販売価格と仕入価格の差益を一定にする努力をしております。

当セグメントの売上高につきましては、販売数量が前年同期比5.5%増加したことにより、液卵売上高は前年同期比4.6%増の2,139百万円となりました。また、加工品売上高は同12.5%増の109百万円、その他売上高は同18.0%増の56百万円となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の合計の売上高は、同5.2%増の2,304百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に原料買付単価が上昇したことにより、前年同期比10.6%減の143百万円となりました。

調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、主に既存の商品の販売が回復してきたことにより、前年同期比3.0%増の283百万円となりました。

セグメント利益につきましては、売上高の増加並びにコスト削減及び生産効率の向上により、前年同期比27.4%増の23百万円となりました。

その他

当セグメントにつきましては、太陽光発電による電力の販売が本格化したことにより、売上高は前年同期比132.8%増の11百万円、セグメント利益は同71.4%増の5百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は7,913百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円減少しました。

流動資産は3,984百万円となり前連結会計年度末に比べ109百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の増加93百万円、受取手形及び売掛金の減少194百万円、原材料及び貯蔵品の減少64百万円等によるものであります。

固定資産は3,928百万円となり前連結会計年度末に比べ27百万円増加しました。主な要因は、土地の増加33百万円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,144百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円減少しました。

流動負債は2,419百万円となり前連結会計年度末に比べ20百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加34百万円、短期借入金の増加55百万円、未払法人税等の減少103百万円、未払消費税等の減少20百万円等によるものであります。

固定負債は1,724百万円となり前連結会計年度末に比べ103百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少97百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は3,769百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益124百万円の計上及び配当金の支払い83百万円により利益剰余金が41百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.6%から47.6%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は30百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,792,000
計	16,792,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,563,580	8,345,370	東京証券取引所 (市場第二部) 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	5,563,580	8,345,370		

(注)平成25年5月13日開催の取締役会決議により、平成25年7月1日付で1株を1.5株に株式分割いたしました。これにより株式数は2,781,790株増加し、発行済株式総数は8,345,370株となっております。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		5,563,580		455,850		366,322

(注)平成25年7月1日をもって1株を1.5株に株式分割し、これに伴い発行済株式総数が2,781,790株増加しております。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,550,700	55,507	
単元未満株式	普通株式 5,480		
発行済株式総数	5,563,580		
総株主の議決権		55,507	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式27株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) イフジ産業株式会社	福岡県糟屋郡粕屋町 大字戸原200番地の1	7,400		7,400	0.13
計		7,400		7,400	0.13

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,569,817	1,663,377
受取手形及び売掛金	1,840,517	1,645,543
商品及び製品	355,490	383,442
仕掛品	28,664	31,802
原材料及び貯蔵品	255,742	191,653
繰延税金資産	37,240	33,646
その他	17,707	43,012
貸倒引当金	11,450	7,968
流動資産合計	4,093,729	3,984,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,110,702	1,087,470
機械装置及び運搬具（純額）	451,826	455,747
土地	2,029,731	2,063,731
その他（純額）	39,035	51,743
有形固定資産合計	3,631,295	3,658,693
無形固定資産	15,920	14,782
投資その他の資産		
投資有価証券	52,864	53,596
繰延税金資産	128,213	129,453
その他	85,414	84,400
貸倒引当金	12,349	12,331
投資その他の資産合計	254,143	255,119
固定資産合計	3,901,359	3,928,595
資産合計	7,995,088	7,913,104

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	654,795	689,023
短期借入金	1,058,067	1,113,692
未払法人税等	167,511	64,265
未払消費税等	48,883	28,573
賞与引当金	58,853	33,668
役員賞与引当金	-	5,750
その他	451,513	484,436
流動負債合計	2,439,624	2,419,409
固定負債		
長期借入金	1,167,570	1,070,052
役員退職慰労引当金	567,235	-
負ののれん	42,396	36,339
長期未払金	-	567,235
繰延税金負債	29,259	29,521
その他	21,647	21,543
固定負債合計	1,828,108	1,724,691
負債合計	4,267,732	4,144,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,850	455,850
資本剰余金	366,322	366,322
利益剰余金	2,904,873	2,946,484
自己株式	4,335	4,335
株主資本合計	3,722,710	3,764,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,645	4,682
その他の包括利益累計額合計	4,645	4,682
純資産合計	3,727,355	3,769,003
負債純資産合計	7,995,088	7,913,104

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,470,341	2,599,668
売上原価	1,904,173	2,062,640
売上総利益	566,168	537,027
販売費及び一般管理費	383,625	364,205
営業利益	182,543	172,822
営業外収益		
受取利息	4	325
受取配当金	74	126
受取賃貸料	607	1,573
貸倒引当金戻入額	5,050	3,500
負ののれん償却額	6,056	6,056
その他	2,511	2,919
営業外収益合計	14,303	14,502
営業外費用		
支払利息	5,484	4,639
営業外費用合計	5,484	4,639
経常利益	191,361	182,685
特別損失		
固定資産除売却損	23	49
特別損失合計	23	49
税金等調整前四半期純利益	191,338	182,635
法人税、住民税及び事業税	76,671	55,314
法人税等調整額	5,018	2,367
法人税等合計	81,689	57,682
少数株主損益調整前四半期純利益	109,649	124,952
少数株主利益	-	-
四半期純利益	109,649	124,952

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	109,649	124,952
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	100	36
その他の包括利益合計	100	36
四半期包括利益	109,548	124,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,548	124,989
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

当社は、平成25年6月26日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止及び平成25年3月31日までの在任期間に対応する退職慰労金を、各取締役及び監査役のそれぞれの退任の際に支給することを決議しました。

これに伴い、当社の「役員退職慰労引当金」の金額を取り崩し、支給額の未払い分567,235千円を固定負債の「長期未払金」に計上しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	39,172千円	39,843千円
支払手形	18,056千円	14,897千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	51,793千円	51,369千円
負ののれんの償却額	6,056千円	6,056千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	122,235	22	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	83,342	15	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,190,096	275,310	2,465,407	4,934	2,470,341
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,190,096	275,310	2,465,407	4,934	2,470,341
セグメント利益	160,799	18,547	179,347	3,195	182,543

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	179,347
「その他」の区分の利益	3,195
四半期連結損益計算書の営業利益	182,543

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,304,670	283,514	2,588,184	11,483	2,599,668
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,304,670	283,514	2,588,184	11,483	2,599,668
セグメント利益	143,710	23,633	167,343	5,479	172,822

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	167,343
「その他」の区分の利益	5,479
四半期連結損益計算書の営業利益	172,822

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	13円16銭	14円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	109,649	124,952
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	109,649	124,952
普通株式の期中平均株式数(株)	8,334,230	8,334,230

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式1.5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年5月13日開催の取締役会決議に基づき、以下のとおり株式分割を行いました。

(1) 株式分割の目的

当社株式の流動性を高め、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるとともに、投資家層の拡大を図ることを目的とする。

(2) 株式分割の概要

平成25年6月30日(日曜日)(実質的には25年6月28日(金曜日))を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載された株主の所有普通株式1株につき、1.5株の割合をもって分割する。

(3) 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	5,563,580株
株式分割により増加する株式数	2,781,790株
株式分割後の発行済株式総数	8,345,370株
株式分割後の発行可能株式総数	16,792,000株

(4) 効力発生日

平成25年7月1日

なお、1株当たり情報に及ぼす影響は、(1株当たり情報)に反映されております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 6日

イフジ産業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 久留和夫 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 只隈洋一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイフジ産業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イフジ産業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。